

脱炭素経営促進メールマガジン

ZEH、地域低炭素化、タラノア、地中熱、再エネ共同調達、再エネ水素、洋上風力(2018年8月17日配信)

●ZEH体験宿泊、断熱水回りの情報発信に協力して下さる事業者を募集しています(9月28日(金)まで)

環境省では、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)での宿泊や、「断熱及び水回りにおけるCOOL CHOICE」が学べる各種施設への訪問を通して、省エネ住宅の最先端を体験していただく事業を実施します。現在、これらの体験施設を提供して頂ける設備メーカー、ホームセンター、住宅メーカー、工務店等の事業者を募集しているので、是非ご応募ください。

<http://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/jutaku/zeh/>

●地域低炭素化推進事業体設置モデル事業の参加募集について(8月31日(金)まで)

地方公共団体の戦略的な参画又は関与の下、地域の再生可能エネルギー等から得られる低炭素な電力の小売りや地域における面的な低炭素化を事業として持続的に展開する事業体を市民、地元企業、地域金融機関等の地域の資金によって新設または強化拡充する場合に要する費用の一部を補助します。

公募内容等の詳細はこちら

http://www.env.go.jp/earth/ondanka/lca/2018/mat07_37.pdf

http://www.env.go.jp/policy/local_re/shindenryoku/30.html

●温室効果ガス削減につながる皆様の取組を国際発信しませんか？

省エネ再エネの導入、低炭素製品の普及・使用、意欲的な削減目標や計画の策定・実施、研究発など、皆様の温暖化対策の取組(ストーリー)を国際発信しませんか。「日本版タラノア対話ポータルサイト」にご投稿いただくと、環境省がこのサイト等を通じて様々な機会に広報します。個人、団体、どなたでも投稿できます。9月末までに投稿いただければ、12月のCOP24での日本政府の情報発信にも活用させていただくこともあります。

多くの皆様の投稿をお待ちしています！

日本版タラノア対話ポータルサイト

<http://copjapan.env.go.jp/talanoa/>

●第 27 回地中熱利用シンポジウム大阪の参加者を募集しています。

都市における地中熱利用について、大阪を舞台に進められている行政の取組と最新の技術動向をお伝えします。ぜひご参加ください。

日時：平成 30 年 8 月 27 日(月)13:00～17:00

会場：うめきた SHIP ホール(大阪市北区大深町)

<http://www.geohpaj.org/archives/7626>

●Apple ら「RE100」加盟企業 4 社が、米 2 州で大規模再エネ発電所を協働で新設

米 Apple と Akamai Technologies(*1)、Etsy(*2)、および Swiss Re(*3)は 8 月 6 日、米イリノイ州とバージニア州に 2 つの太陽光・風力発電所を新設すると発表しました。4 社はいずれも「RE100(*4)」に加盟する企業です。設備容量の合計は 290MW(メガワット)と大規模なものです。これらの企業では、RE100 の目標達成を目指しつつも様々な制約から一部の地域では再生可能エネルギーの調達に難しい状況にありましたが、複数企業の協業によるスケールメリットによって調達量・発電単価の両面から満足できる水準を満たすことができました。これらの電力は米国東部の送電網を介して、4 社の事業や一般家庭で活用されます。

この取り組みは、Apple のような巨大企業がパートナー企業と連携して世界各地で再エネプロジェクトを立ち上げ、地域社会・地域産業を巻き込みながら再エネへの移行を促していく先進的な事業モデルとして、注目に値するものです。

(*1) Akamai Technologies・・・インターネット上でのコンテンツ配信代行など、CDN(Content Delivery Network) 分野の世界トップ企業。

(*2) Etsy・・・米 E コマースの大手企業。

(*3) Swiss Re・・・スイスの再保険会社。

(*4) RE100・・・再生可能エネルギー100%での事業運営を目標に掲げる企業が加盟する国際イニシアティブ。

<https://www.akamai.com/us/en/about/news/press/2018-press/apple-akamai-etsy-and-swiss-re-collaborate-to-accelerate-renewable-energy-development-in-illinois-and-virginia.jsp>

●再エネを利用した世界最大級の水素エネルギーシステムを、NEDO および東芝エネルギーシステムズら 3 社が着工

新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)、東芝エネルギーシステムズ、東北電力、および岩谷産業は 8 月 9 日、福島県浪江町において、再生可能エネルギーを利用した 1 万 kW の水素製造装置を備えた水素エネルギーシステム「福島水素エネルギー研究フィールド」

の建設工事を開始したと発表しました。

水素エネルギーの分野で世界最大級となるこのプロジェクトでは、出力変動の大きい再エネを最大限活用するために、電力系統の需給バランスを調整する機能の確立などが期待されています。2019年秋からの試運転を経て、2020年7月までに実証運用と水素の供給が開始される予定です。製造した水素は、燃料電池による発電用途、燃料電池車などのモビリティ用途などに使用されます。

https://www.toshiba-energy.com/info/info2018_0809.htm

●電源開発と関西電力が、英トライトンノール社の洋上風力発電所(86万kW)へ参画

電源開発(Jパワー)と関西電力は8月、英トライトンノール(Triton Knoll)社に出資し、日本の電力会社として初となる海外での洋上風力発電事業に参画しました。

この事業では英国東海岸の北海に、MHI ヴェスタス社(*)製の風車を90基(総発電容量約86万kW)設置し、2021年の運転開始が予定されています。

両社は本事業への参画によって、欧州での洋上風力事業の建設・保守・運転に関する知見・ノウハウを蓄積し、事業を拡大させていくとともに、その知見・ノウハウを国内事業でも活用し、再生可能エネルギー事業を加速させていく構想を持っています。

(*)三菱重工業(MHI)とVestas Wind Systems(ヴェスタス)が両社折半出資する洋上風力発電設備合弁会社

http://www.ipower.co.jp/news_release/2018/08/news180813.html

http://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2018/0813_1j.html

環境省脱炭素促進メールマガジン

発行元：環境省地球温暖化対策課

※宛先の追加、変更、配信停止のご連絡は以下までお願いします。

decarbonize@env.go.jp

※環境省脱炭素促進メールマガジンのバックナンバーをグリーン・バリューチェーンプラットフォームで公開しています。こちらでは購読申し込み・解除もできます。

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/mail_magazine.html
